

部活動の地域展開とは？



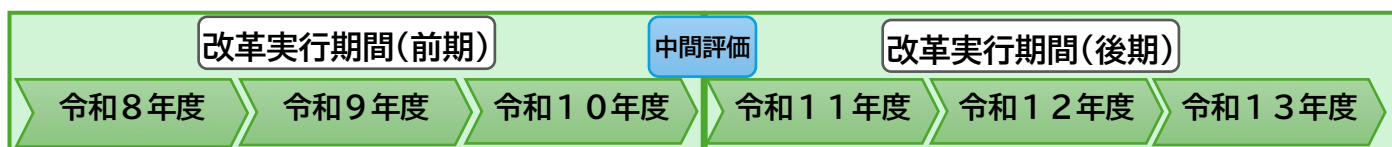
～学校部活動から地域クラブ活動へ、より豊かなスポーツ・文化芸術活動への扉～

学校部活動は、これまで子どもたちにスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を保障し、教育活動の一環として重要な役割を果たしてきました。また、異年齢との交流を通じて生徒同士や教員との人間関係を築き、自己肯定感や連帯感を育む場でもありました。しかし、急速な少子化により部員数が減少し、従来の学校単位での部活動の維持は困難になっています。

そこで、子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させるため、「部活動の地域展開」が進められています。これは、これまで学校単位で実施していた部活動を、地域の指導者や各活動の専門家等、多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動へと段階的に転換していく取組です。これにより、学校の枠を超えて多様な仲間と交流しながら、自分の興味・関心に応じた活動を選択しやすくなります。

なお、国がこのような部活動改革を打ち出した当初は「地域移行」という言葉が使われていましたが、現在は「地域展開」という名称に変更されています。これは、単に学校から地域へ活動に移すという意味合いに留まらず、学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていくという点に加え、ニーズに応じた多種多様な体験活動、学校の垣根を越えた仲間とのつながり、多世代との交流といった新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とすることを目指していくという、未来に向けた前向きな意図が込められています。

国の改革スケジュール



国は、令和5年度から令和7年度までの3年間を、学校部活動の地域クラブ活動への移行等を進める「改革推進期間」として、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととしています。

次期改革期間(改革実行期間)は、前期3年間(令和8年度～令和10年度)、後期3年間(令和11年度～令和13年度)の計6年間とし、休日については、この期間内において、原則として、全ての学校部活動において地域展開を実現し、地域クラブ活動に転換することを目指すとしています。また平日については、各種課題を解決しつつ、さらなる改革を推進するとしています。

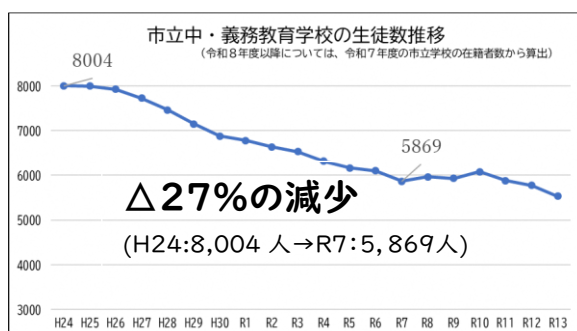
福島市の現状

① 福島市の生徒数の推移

令和7年5月1日現在、福島市立中・義務教育学校(以下、市立中学校とする)は20校(夜間中学校含む)あり、生徒数は5,869人となっています。これは平成24年度から2,000人以上の減少となります。

福島市の令和7年4月時点での年齢別人口構成からも、今後生徒数は引き続き減少し続けることが推測されます。

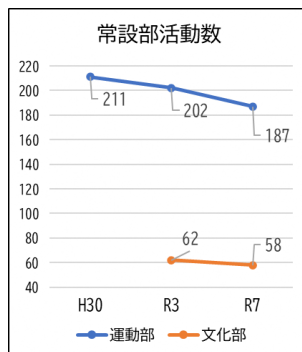
令和7年度 本市の現状



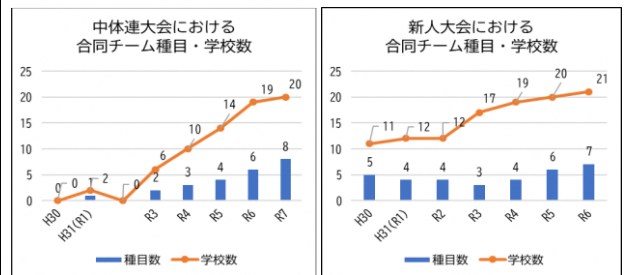
② 市立中学校の学校部活動の現状

市立中学校の常設部活動数は、生徒数の減少に伴い、減少傾向にあります。

部員数の減少に伴い、中体連大会等に単独校では参加できず、複数校による合同チームを組んで出場している部活動数及び学校数は年々増加傾向にあります。



市立中・義務教育学校における運動部
中体連大会における合同チーム数推移



※ 令和7年度から支部中体連新人大会は廃止

③ 子どもたちのスポーツ・文化芸術活動へのニーズ

今年5月に小学5・6年生の児童と中学1・2年生の生徒を対象に実施したアンケートの結果からは、スポーツや文化芸術活動、中学校の部活動等について、子どもたちの様々なニーズがあることが改めて確認されました。

中学校の休日の部活動については、「毎週活動したい」という意見もあれば、「月2回程度でよい」、「土日は活動しなくてよい」などの意見がありました。

また、今後地域のクラブ活動に参加するとしたら、「部活動と同じ活動がしたい」というのが約半数、残り半数は「学校部活動とは別の活動をしたい」「多世代で交流する活動をしたい」「複数の活動をしたい」等であり、様々な活動にチャレンジしたいという子どもたちの思いを読み取ることができます。

福島市では、部活動地域展開を、単に学校部活動を地域クラブ活動へ転換するのではなく、子どもたちの休日や放課後の過ごし方を見直し、やりたいことにチャレンジできるような改革にしたいと考えています。

アンケート結果の詳細は、市ホームページに掲載していますので御覧ください。



(このイラストは生成 AI により作成しています)



【アンケート結果】

福島市の取組

福島市では、令和5年度に陸上競技、剣道競技、吹奏楽において競技団体及び文化団体主催による週末合同練習会をスタートさせ、その後も個人種目を中心として週末合同練習会を拡充してきました。

今年度は「福島市地域クラブ活動推進協議会」を立ち上げ、有識者、学校教育関係者、スポーツ・文化団体代表者、保護者代表者等により、本市における部活動の地域展開の在り方、さらには地域クラブ活動等の環境整備について協議を進めています。



第2回福島市地域クラブ活動推進協議会(10/27)の様子

令和7年度の主な取組

- 「福島市地域クラブ活動推進協議会」を2回開催しました。(3回目は2/6開催予定)
- 各競技団体・文化団体主催による週末合同練習会等を実施しました。
[剣道12回/陸上12回/水泳15回/卓球3回/ソフトテニス3回/バドミントン3回/吹奏楽8回]
その他[合唱29回/美術5回]
- 児童生徒、保護者、教職員及びスポーツ少年団へのアンケート調査の実施と結果分析を行いました。

福島市教育委員会では、本通信の発行を通して本市の今後の方針や取組等についてお知らせしてまいります。

福島市のこれまでの取組や「福島市地域クラブ活動推進協議会」の詳細はこちらをご覧ください。



【推進協議会】



【地域展開の取組】